

## 平成19年度 末長こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	末長こども文化センターの管理運営に関すること 末長小学校・新作小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターにおいては運営協議会やこども会議にて利用者のニーズ把握に努めるとともに、団体利用を含む館の利用者に直接声をかけることなども積極的に行なった。わくわくプラザにおいては、こども会議や保護者懇談会を定期的開催してに利用者ニーズの把握を行いました。また、意見箱の設置をした。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	地域の拠点となるよう各関係機関、団体との連携を図り、地域で活動するさまざまな団体等の情報誌、チラシを配置して、地域住民への情報提供を積極的に行なった。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。
事業の実施に関すること	こども会議の意見を尊重しながら、児童が参加しやすい行事や、興味のある行事を企画した。また、階下のくさぶえの家との連携を図り、16回目となる「施設合同まつり」を開催した。	運営協議会との連携により地域のニーズに合った行事や、ボランティアによるクラブ活動を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用にも努めること。

個人情報の取扱に関すること	「財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針」に基づき取り扱いました。鍵のかかるキャビネットへの保管、不要書類のシュレッダーによる廃棄等、適切な管理を行いました。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関すること	運営協議会の協力による遊戯室の壁紙の張替えや、地域の関係団体の協力による窓ガラスの清掃、各破損箇所の修繕、職員による修繕等により、安全な施設づくりに努めた。また、幼児の利用の増加に合わせ、幼児ルームの清掃にも心掛けた。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 34,893人 延べ団体利用数 5,843団体 (主な行事等) 工作教室 施設合同祭り  (特色のある行事) 中学生による卓球教室	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 末長小学校わくわくプラザ 登録者数 423人 延べ利用者数 17,857人 (主な行事等) カレンダー作り プラバン  (特色のある行事) 箱カメラ作り  2 新作小学校わくわくプラザ 登録者数 256人 延べ利用者数 12,133人 (主な行事等) 自己紹介カードを作ろう こども安全教室  (特色のある行事) 箱カメラ作り	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>49,715,954</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>37,616,070</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>5,442,225</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>48,018,129</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>1,697,825</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	49,715,954	支出	人件費	37,616,070		管理費	5,442,225		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	48,018,129		差引	1,697,825	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	49,715,954																														
支出	人件費	37,616,070																														
	管理費	5,442,225																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	48,018,129																														
	差引	1,697,825																														

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。